



SecondBrain の3つの動き

① **ためる（自動）** 意識せずに入る。やりとりの記録・調べた情報・入口に投げたメモ。手で書く仕組みは続かない前提で組む。
Hook / 定期調査 / .raw

PC配置マップ（理想形）

```
~/Documents/PWVault/
├── WIKI.md
├── index.md
├── CLAUDE.md / AGENTS.md
├── 00_ナレッジ/
│   ├── 10_業界と事例 →
│   ├── 20_案件/
│   ├── 30_インプット/
│   └── 40_運用/
│
│   ├── 50_業務改善/
│   ├── _inbox/
│   ├── _templates/ / _研修/
│   └── .obsidian/
└──
~/./claude/settings.json ← 第二の脳。起動: cd ~/Documents/PWVault && claude
├── 運用ルールの本体（4つの手がかり・取り込み・引き出し）
├── マスター索引。AIはまずここを読み、必要なノートだけ開く
├── 起動時の読み込み順・禁止事項・引き出しの作法
├── concepts / frameworks / benchmarks / plays (型・手法・数値)
├── industries / cases / trends
├── engagements / sessions / decisions / entities
├── .raw (入口・何でも投げる) / sources (出典付き調査) / chat (AI会話)
├── hot.md (直近の文脈) / log.md (自動記録) / logs/ (月次追記)
├── persona.md / domain.md / OWNERS.md / audit.md / watch.md
├── INDEX.md + 01～ (設計書 / アプリ / ドキュメント)
├── 迷子ファイルの一時保管+README (人への報告)
├── AIは読み書きしない
├── ★ここにHook登録。全フォルダの命令が 40_運用/log.md に集まる
├── どこでも呼べるSkill (gyomu / vault-keep など)
├── 記録・整理・定期調査のスク립ト置き場
└── 定期実行の登録 (launchd)
```

★必須の自動化5つ

- ★1 **やりとりの自動記録（Hook）** ユーザー設定の UserPromptSubmit に登録。命令のたび 40_運用/log.md へ追記。ユーザー設定だから別フォルダの案件の命令も全部集まる。日時・打った場所・先頭200字。追記のみ。
~/./claude/settings.json → hooks/log-prompt.mjs
- ★2 **ログから抽出・分類・整理** 月1回、前月分から「3回以上出た作業」と「効いた頼み方」を抜き 00_ナレッジ/plays/へ。log.md 本体は書き換えない。抜いたものが次の自動化候補になる。
毎月1日 → plays/YYYY-MM_ログ要約.md
- ★3 **直下の迷子を一時整理** 許可リスト（README/CLAUDE/AGENTS/WIKI/index+番号フォルダ）以外が直下であれば _inbox/へ移し、理由と置き場所の候補を README に報告。削除は絶対しない。候補不明は「不明」。
1日1回 → _inbox/README.md
- ★4 **定期調査→格納→目次更新** 40_運用/watch.md のテーマを週1で調べ、主張と出典URLを対にして 30_インプット/sources/へ。保存と同時に index.md へ1行追加。同テーマは追記して更新日を書す。出典なしは「未確認」。
毎週月曜 → sources/ + index.md
- ★5 **別の場所から引き出す（LLM wiki）** 作業フォルダの CLAUDE.md に参照ルールを書く。index.md 経由で関係するノートだけ開く。読むだけ・書き換えない・出典にノート名・無ければ「無い」と言う。
作業例 CLAUDE.md に参照ルール

これらも必須（土台）

起動時の読み込み順 hot.md (直近の文脈) → index.md (目次) → 必要なノートだけ。全ノートを読ませない。100枚を超えること差が出る。
CLAUDE.md に順番を明記

仕組み一覧（優先度 / 頻度 / 保存先）

#	仕組み	優先
1	やりとりの自動記録 (Hook)	★必須
2	ログから抽出・分類	★必須
3	直下の迷子を一時整理	★必須
4	定期調査→格納→目次更新	★必須
5	別の場所から引き出す	★必須
6	起動時の読み込み順	必須
7	4つの手がかり	必須
8	入口の一文化	必須
9	ブラウゼ会話の持ち込み	必須
10	削除と大量移動の停止線	必須
11	古いノートの報告	推奨
12	月ごとの区切り	推奨
13	自己点検（穴の報告）	推奨
14	効いた設定の保存と再現	推奨
15	週3分の点検	推奨

Tips・補足

3つの動き（ためる／保つ／引き出す）が揃って初めて第二の脳になる。1つだけ作るなら ★1（記録）と ★5（引き出し）

② **保つ（自動）** 崩れない。迷子ファイルの検知、月ごとの区切り、古いノートの報告、穴の自己点検。削除は人が判断。
_inbox / logs/ / audit.md

③ **引き出す（人とAI）** 別の場所から使える。index を経由して必要なぶんだけ読む。読むだけで書き換えない。
_index.md 経由の LLM wiki

4つの手がかり type / date (when) / topic / status を全ノートの frontmatter に。status は進行中・完了・保留・参照用の4語のみ。語彙を勝手に増やさない。
status: 進行中 / date: 2026-08-03

入口の一文化 30_インプット/raw/に何でも投げる。書き方も命名も問わない。分類は週1でまとめて。Obsidianの新規ノート作成先もここに固定。
command+N → .raw/ に落ちる

ブラウゼAIの会話を待ち込む 貼って source を書く。取り込み時に「決まったこと／検討しただけ」「自分の発言 / AIの発言」を分けさせる。分けないと後で根拠に使ってしまふ。
YYYY-MM-DD-chat-テーマ.md + source

削除と大量移動を止める 削除は必ず人が判断。10件超の移動は実行前に一覧報告。obsidian は読み書き禁止。log.md は追記のみ。settings.json と CLAUDE.md の両方に書く。
deny_obsidian / 削除は ask

バックアップ Gitを必ずフォルダのコピーかZIPで過渡。自動整理を入れる前に1回取る。どの時点にも戻せる状態を作ってから自動化を始める。
自動化の前に PWVault を ZIP

機密の線引き 公開情報のみ。機密が含まれそうな入力は保存せず警告。業務データはダミーで作ってから差し替える。
機密入力 → 保存せず警告

あとと良い（育ってきたら）

古いノートの報告 一定期間動いていないノートを一覧化。移動も削除もせず報告だけ。数字を含むもの6ヶ月・案件記録12ヶ月・概念は期限なし。確認したら last_checked を足す。
last_checked: 2026-08-03

月ごとの区切り 時系列で増えるものだけ月次に。raw / sessions / log.md の3つ。当月は触らず、月が変ったら前月分を移す。パス付きリンクだけ直す。
_raw/2026-07/・logs/2026-07.md

自己点検（穴の報告） 手がかりの欠け・リンク切れ・孤立ノート・index との食い違いを週1で点検。直さず報告だけ。前回との差分も出す。
毎週金曜 → 40_運用/audit.md

効いた設定の保存と再現 persona・効いた頼み方・Skill構成の3点を _研修/実績/ に保存しINDEXに1行。次案件で読み替えて再現。そのまま使えるものと要読み替えを分ける。
3つとも問題なし → 終わる

週3分の点検 見る場所を3つに固定。_inboxの件数（週5件以上で入口を見直す）、log.md に整理の記録が毎日あるか、実行ログのエラー。問題なければそれ以上見ない。
3つとも問題なし → 終わる

成果物の層（50_業務改善） 動くものを作ったらここに。設計書 / アプリ / ドキュメントの3フォルダ。INDEXに状態と削減時間の見込みと実測を並べる。
50_業務改善/01_〇〇/

動的ビュー（Bases / Dataview） frontmatter が揃っていれば、status や topic で絞った一覧を自動生成できる。手で目次を更新する手間が減る。
status: 進行中 の案件を一覧

MOC（テーマ地図） index が全体の目次、MOC は1テーマの地図。ノートが増えてきたら、テーマ単位で束ねる中間層を作る。
[[提案ストーリーの型]] から各ノートへ

自動化は段階を踏む

1日目 報告だけ 何を動かすつもりかを報告させ、実際には動かさない。意図と違う判断をしているかをログで確認する。
移動せず _inbox/README に書くだけ

2日目 固定して動かす 迷子ファイルの移動だけ有効にする。月次の区切りや古いノートの扱いはまだ止めておく。
移動する形に切り替え

3つ揃って初めて機能する ①だけだと3ヶ月で見えなくなる。②が無いと入口が増えて崩れる。③が無いとためた意味が出ない。

3週目以降 通常運転 全部動かす。週3分の点検だけ続ける。異常があれば1つ前の段階に戻す。
週1で3か所だけ見る

頻度が違うものは分ける 1つのスク립トに詰め込まない。迷子検知は毎日、調査は週1、ログ抽出と月次区切りは月1。別々に登録する。
daily / weekly / monthly を別listに

ブラウゼAIとの使い分け

★線引きは1つ 出てきたものを保存するかどうか。保存しないならブラウゼで足りる。保存するなら Claude Codeの方が早く、ファイルとして残る。
保存する → Claude Code

ブラウゼ・アプリが向く 調べる、相談する、下書き、壁打ち。移動中や思いつき。出力は画面の中で、転記は人の作業になる。
また形にならない相談

Claude Code が向く 手元のファイルを聞く・書く・保存する。フォルダごと数十〜数百件。繰り返し発生する作業。成果物が.xlsx / .pptx で出る。
47ファイルを1枚に集約

持ち込みは週1で足りる 毎回やろうとすると続かない。残したい相談だけ、週に1回まとめて .raw/chat/へ。10本まとめて進んでテーマ別に束ねさせる。
_raw/chat/ にまとめて →一括取り込み